

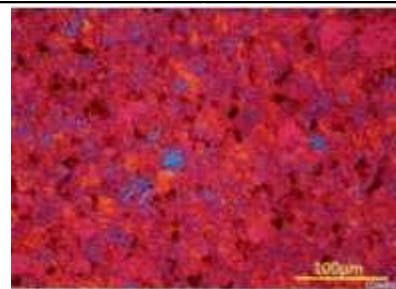
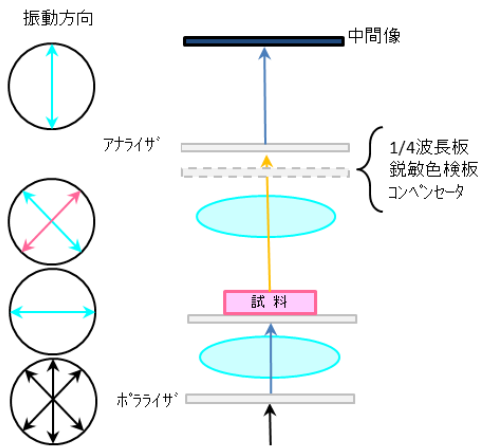
偏光顕微鏡



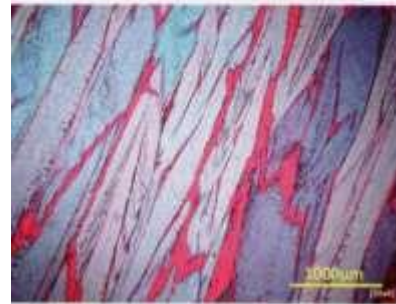
設置 年度	1995年度
型 式	BX50-31P
製 造 所	オリンパス
仕 様	観察方法: 透過法 取得画像: オルソコープ像、コンスコープ像(デジタル画像保存可能) 対物レンズ: ×5, ×10, ×20, ×50 接眼レンズ: ×10(目視でのみ使用) 試料ステージ: 手動(360度 回転、試料XYステージ付き)
用 途	鉱物などをコントラストの良い状態で観察ができ、写真撮影装置がセット可能。

事例紹介

- ・試料の偏光特性を明暗や色のコントラストに変える観察法。
- ・物質の複屈折構造、岩石鉱物の解析、光学異方性体の検出、リターデーション(複屈折によって生じる位相のずれ)の測定に用いられる。

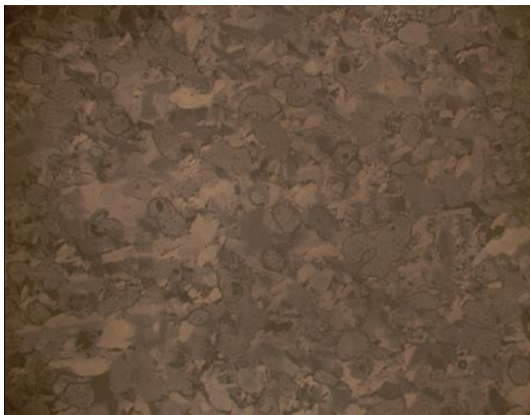


(a) 焼成ムライトクリンカー

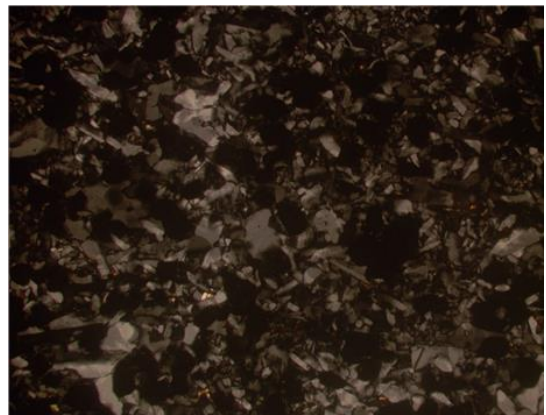


(b) 電融ムライトクリンカー

- ・焼成ムライト: 長さ30µm以下の柱状に成長し始めたムライト単結晶の集合体が観察される。
- ・電融ムライト: 5~10mmに著しく発達した単結晶から成る集合体が観察される。



オープンニコル



クロスニコル

使用後の珪石れんがの組織観察